

## 地元地域パートナーとの 交流イベント開催

第18航空団広報局



嘉手納基地では、「コー・コマンダー・プログラム」と呼ばれる、嘉手納基地幹部（群、中隊、準構成部隊、航空団幕僚）と地元地域の方々をパートナーとして交流活動を行なう交流プログラムがあります。9月10日に、第18航空団司令官ウィルズバック准将主催で、同プログラム関係者を対象としたイベントが開催され、およそ70名の地元地域の方々が参加しました。参加者の皆さんには、会場に到着すると、待ち構えていたそれぞれの第18航空団幹部と握手をしながら挨拶を交わし、ウィルズバック准将から嘉手納基地の任務や役割についてのブリーフィングを受けました。その後、施設見学ツアーに参加した皆さんには、第33救難中隊及び第31救難中隊のHH-60ヘリコプターを見学し、実際にHH-60ヘリコプターに触れたり、機能性に優れた、救難用の備品に関心して見入っていました。次に第18医療群の施設となるハイデックローダーと呼ばれる、緊急患者用の輸送トラックや、低圧室、高度室、暗視鏡の施設を見学、ベッドに横になった状態で患者を航空機内へ搬送できる緊急患者搬送車両に搭乗したり、暗視鏡をつけてトレーニングの模様を体験していました。大変暑い一日でしたが、2時間の施設見学ツアーを終え、参加者の皆さんには、「こんなに貴重な体験が出来て大変嬉しい。」「米軍の優れた施設やその高い技術に大変関心した。」などと口々に感想を述べていました。

(写真全て、嘉手納基地広報局写真部：金城順子撮影)





## 第63回米国空軍創設記念祝賀会の様子 2010年9月、嘉手納基地にて

(写真全て、米空軍：ジャービー・ヴァレス上等兵撮影)



# 63rd U.S. Air Force Ball

K A D E N A A I R B A S E , O K I N A W A , J A P A N



## 傷痍軍人会、嘉手納基地を訪問

第18航空団広報局



9月30日、九州・沖縄地区の傷痍（しょうい）軍人会の会員28名が嘉手納基地を訪れ、沖縄戦終結に向けて日米の調印式が行われた「降伏調印の碑」と沖縄戦前に旧日本軍が構築した「旧航空機格納庫跡」を見学しました。昨年夏に訪れた「沖縄傷痍軍人会」に続き、今回で2回目の訪問となりました。訪問者の皆さんには年齢が70歳から90歳で、太平洋戦当時、軍人だった方々、またその遺族の方々です。報道関係者のインタビューを受け、当時の記憶を感慨深く語る方もいました。

### KYUSHU OKINAWA SHOIGUNJIN KAI VISIT



(米空軍：ジェイソン・レイクー等軍曹撮影)